



老人クラブ ニュース

5月の行事表

会務報告

春先のWBC「ワールド・ベースボール・クラシック」で皆さんも沸きに沸いたと思います。元日本ハムの選手であった大谷祥平やダルビッシュ有及び近藤健介選手、現選手の伊藤大海選手たちの大活躍にテレビ前で大きな感動を受けたと思います。

- ・大の野球好きだった前会長、澤田功さんが生きておられたら必ずや朝礼で微に入り細に入り、熱演したに違いない。「イチロー」の大ファンでいつも目を輝やして報告された。お陰さまで皆さんもちょっとした野球通になったと思います。
- ・春とはいえ朝夕の寒暖差が大きく、油断は出来ません。お天気を見ながらタンスの中から着脱のしやすい服を選び、うまく体温調整をしましょう。
- ・桜前線が思いのほか早く北上しています。今年も円山公園で見学会をしますが、昨年の失敗「桜散り」の見学会にならないよう早めに計画しました。みんなで花見会を楽しみにしたいと思います。
- ・4月は4つの選挙があります。私たち国民の義務として果たさなければならぬ権利の行使です。「意味が解らない」と「棄権」するのだけはやめましょう。わからない時は、友だちや知人から情報をもらって立候補者の考えを知り、最後は自分で選んで決めましょう。
- ・いよいよ定期総会です。老人クラブの今後を楽しく、生きがいを持って活動する内容を決める総会です。皆さまの良いアイデアを出し合いましょう。

5月 4日 (祭日)	9:45まで集合! 円山公園「桜花見会」 11時45分現地集合 12時に情報センターで解散します。	情報センター 前集合 福祉バスで往復します。 見守りで「とも」と賛助会員のご協力依頼。
5月 11日	9:45~12:00まで 定例総会 出席票は持参しても構わないが、参加連絡要。	情報センター 大会議室
5月 18日	10:00 ラジオ体操と会務報告 11:00 老人寺子屋 「音のことば」の手話表現学習。(オノマトペ)	情報センター 研修室 「とも」支援
5月 25日	10:00 会務報告 10:30「体力測定」 自分の体の状況を調べます。 運動しやすい服装と靴を用意してくださいね。	情報センター 大会議室 中央区大通介護予防センター 生出紀子様

知識の泉

こうさ 黄砂 ってなに

「黄砂」とは、中国大陸のゴビ砂漠あたりから風で巻き上げられた砂ぼこりが日本に飛んでくるものです。3月から5月頃に多いです。中国では視界不良で交通事故も多発しています。日本でも目がかゆくなったり鼻水が出たり健康に悪い影響(えいきよ

う)があります。花粉症と間違えられますが、それは別です。また、洗濯物が汚れたりします。今の季節はコロナのためばかりでなく、花粉症と黄砂のためにも、外出時にマスクが必要ですね。(T/T記)



きふ
ご寄付ありがとうございました。（4月15日まで）

・飴玉（3袋）	・沼沢 一夫様	
・ストラップ（1ヶ）	・長谷川マリ様	
・使用済切手（1枚）	・中根 伸一様	
・使用済切手（6枚）	・宮内 昭治様	
・お菓子（1箱）	・塩谷美沙子様	
・ハガキ（1枚）	・中根 伸一様	
・切手売上（1枚）	・菅野 直己様（非会員）	・84円
・寄付金	・佐藤 順子様	・200円
・使用済切手（19枚）	・菊地 克哉様	
・使用済切手（6枚）	・宮内 昭治様	
・寄付金	・沼沢 一夫様	・7円
・飴玉（3袋）	・菊地 克哉様	
・切手（147枚）	・谷水みさ子様	・11,680円

未記名の方は次号へ

合計 11,971円

生活の知恵です。（その8）

皆さん今年も4月1日から5月31日まで「青い鳥ハガキ」の無償配布が始まります。その制度は昭和51年から「身障者福祉強調運動」を目的として始まりました。

条件として「身障手帳の1級・2級」を持っている人を対象としています。「老人クラブニュース」5月号に同封した「青い鳥郵便配布申込書」の記入事項に書いて「近くの郵便局」へ身障手帳と一緒に申し込んでくださいね。

日頃、ハガキを使わない人は、何枚か老人クラブの情報提供活動のために、ご寄贈をよろしくお願ひします。補助金や助成金の少ない老人クラブの財源作りに役に立ちます。

2023年度「会費」納入者数（4月15日現在）

- 会費 納入者 名
- 賛助会費納入者 名

継続会員、未合計
賛助会員、未合計

○あなたはどこで生れ、どこの聾学校を卒業しましたか？

●私は中空知の江部乙町（現在滝川市）で生れ、5人兄弟の長男でした。旭川聾学校に入学して中学部を卒業しました。

○旭川聾学校の寄宿舎に入りましたか？

●いや、私は4人の兄弟と共に江部乙から旭川まで車で通学した。別に苦労したことのない楽しい通学でした。



○すごいね。中学生の時、ミニ機関車と線路を作って展示しましたね。先生たちがその精巧さに驚いていましたね。卒業後は？

●旭川職業訓練校で木工科を学び、滝川市内の建具会社に就職しました。そこで「中空知聾啞福祉協会」を仲間たちと設立運動をしました。今は仲間が亡くなり、会員数が50人から5人以下になった。思い出がいっぱいありましたね。

○江部乙の実家の親は何をしていましたか？

●「田んぼ」です。5町の広さで馬が引っ張る「ブラウ」で土を起こしてやりました。今は自動耕うん機ですが、昔はたいへんでした。

○いつ札幌へ引っ越ししましたか？

●滝川の建具会社（3社目）が倒産したので、平成13年、亡くなった妻と札幌に移り、息子夫婦と一緒に暮らしました。その後、妻は病気で急死し、今は息子夫婦と孫2人の5人暮らしです。

○あいの里の奥に住んでいますね。大雪で大変でしたか？

●冬期間は老人クラブをずいぶん休んでしまいました。毎日、朝の雪かきが大変で、腰が痛みました。転んでケガもしましたが、今は雪が融けて楽になりましたので、杖を突きながら通っています。皆さんと久しぶりに会えて楽しくなりました。頑張ります。よろしくお願ひします。

○突撃インタビューにご協力ありがとうございます。（N記）

※「ブラウ」とは辞典の写真を見てね

健康を守る会

【ゲートボールチーム】が復活。



老人クラブの3人
(応援しましょう!)

24 軒の身障福祉センター体育館で練習会を行なっていました。みんなは老人クラブの会員ですが、健康を守る事を第一として頑張っていました。

旭川で開く全国高齢者大会に参加出来たら良いね。



どうわ しゅわがたり べ
童話の手話語り部活動「3度目」

太田利実さんの出演で「ほうふく笑いとお腹

去る3月16日、楽しみにしていた太田利実さんの手話語り部の上演会を開きました。

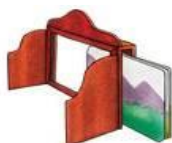


ノートパソコン持参。操作担当者の仲間を連れて、パワーポイントを使いながら2つの童話を

表情豊かに演じて頂きました。童話の内容は「鶴の恩返し」「浦島太郎」でした。あらすじは誰もが知っているものですが、語られる音声のテンポや調子は初めて経験する人が多く、手話での語りは大変楽しく観劇出来ました。静けさと驚き・物語の展開にすごい反響がありました。その場で次回も「また観たい」という要望が出て、役員会で計画を相談したい。

思い起こせば、テレビのなかった時代にこれと似た「手演」を観たことがありました。3時のお菓子を「入場代」としてせしめた者がいたほどの人気ぶりでした。

いつかはその「手演」を老人クラブで発表したいね。



1月～3月生まれの

誕生会 9人。祝う人 17人

去る3月23日、今年度最後の誕生会を開きました。26名の参加者中9名が対象者、17名が祝う側です。仲間の誕生日と一緒に祝う気の良い人が沢山集まり盛り上げてくれました。

沼沢副会長が一人ひとりに誕生祝いの品を渡しながら、お祝いの言葉を述べました。

誕生会の余興に飛び入りで、谷水みさ子さんが楽しい童話の「クイズ」をして頂きました。クイズは全部で8つありましたが、みんなが全部当たりました。こんな楽しい余興もあるとは驚きました。

お昼まで各々グループで昔話やこれからのことを楽しく意見交歓しました。



コロナ禍のせいで今までと同じような美味しい食べ物や飲み物を用意できない「誕生会」でしたが、短時間でも笑顔で交流出来、再会を誓い合いました。

「えいきょうありがとうポスター」の影響(その2)

小生が買い物に行く周囲の商店やコンビニでは、店員さんが手話で「ありがとう」と挨拶を返す所が増えていました。その店にはポスターを配布しませんでした。小生が「お釣りを受け取ったら」必ず「手話」で挨拶をしていました。それを見て店員さんも「ありがとう」と手話で返すようになりました。小生の周囲のコンビニや商店の15店中、7割は手話を覚えています。

声を発することが出来ない小生の手話での「ありがとう」に答えてくれる人が増えています。自らの行動が、手話に対する市民の理解を得て伝播して行く過程を経験しました。聞こえる人も声と共に手話で表して頂ければ有難い。

賛助会員のあり方について

私たちの札幌ろうあ老人クラブには「賛助会員制度」があり、現在6名で聞こえる人ばかりです。どういう経過でその制度を作ったのか？よくわかりませんが、クラブの会則には…

第5条の(2)に「賛助会員は、札幌近郊のろうあ者、又は、60歳未満のろうあ者や手話ができる聞こえる人で、札幌ろうあ老人クラブの趣旨に賛同する者。」と定めています。

しかし、賛助会員の具体的な活動の内容が明記されていません。創立期間に「手話の出来る聞こえる人」がいなかったために、個人的に依頼して賛助会員になってもらったと想像できます。現在はクラブ活動で手話通訳として頼る部分は少なくなっています。むしろ手話の出来る「とも」会員や協会事務局に依頼する部分が増えています。「クラブの趣旨に賛同し」共に活動するという目的があいまいになっています。

時代が進むと目的が変わって行くのは当たり前な事で、その役割をみんなで再検討しましょう。

中には、朝のラジオ体操のリードを担う人や健康を守る会の交渉担当に当たる人もいます。また、「とも」の会員を兼ねて「老人寺子屋」の助手、イベントの時の「見守り」活動をするなど、聞こえる人なりの役割が出ています。会費は正会員と同じ年間1,500円を納めており、クラブニュースも会員と同じく送付しております。

賛助会員の立場を聞く話し合いの場を設けて、今後のあり方をまとめて行きたいと思います。

賛助会員との連携が出来ない方も居り、聞こえる人と聞こえない人の区別で交流のない場面が見られ、どこことなくギクシャクしている所もあります。「助ける人と助けられる人」みたいな形になっています。老人クラブは、手話の勉強をする会ではなく手話で交流する場所であることを知ってほしいと思います。江別の「ろうあ老人クラブ」は「手話で会話する事」が共通の目的で、聞こえない人と手話で学んだ人で60歳以上の聞こえる人と一緒とした形の「ろうあ老人クラブ」(愛称会名があります)です。従って賛助会員制は設けていなく、みな平等な会員です。こんな会もあることも皆さんに情報提供します。

去る3月30日木曜日、「とも」から4人の会員が参加して老人寺子屋を開きました。

今回は、3つのバリエーションで内容も豊富に、参加者の知識を出し合う勉強会でした。

1つ目は、「北海道の美味しい食べ物」は何か？思い思いに「紋別の毛ガニ」「鵜川のししゃも」「十勝のあんこ」「石狩の鮭ナベ」その他、美味しかった物をひとり1人が手を上げて発言しました。ホワイトボードいっぱい書かれた食べ物の名前と話して、皆さんもお腹が空いたような気持ちになったかも。



2つ目は海にいない魚、つまり池や湖、川で暮らしている「魚」の名前を出し合いました。

海で暮らして川に上って産卵する魚類と、ずっと川で暮らす魚の違いにとまどった人もいましたが、「ドジョウ」「金魚」「フナ」「イwana」「鯉」「イトウ」など20数種類の名前がでました。

3つ目はパワーポイントを使い「往年の名優の顔写真」を見せ、名前を当てるクイズでした。

邦画では「三船敏郎」「原節子」や「高倉健」「石原裕次郎」「田中邦衛」「吉永小百合」。洋画では「オードリー・ヘップバーン」「ハリソン・フォード」など顔は判るが、名前が思いつかないと言う会員もいましたが、若い時に「字幕付き」の映画を観る事が唯一の娯楽で、洋画を観に通い詰めた「思い出」が懐かしくよみがえった「老人寺子屋」でした。

こんな楽しい勉強会が私たちの毎日に刺激を与えてくれています。次回も楽しみですね。

写真提供・守屋幸子様

